

第3章 歯科口腔保健推進計画

めざす姿

歯でつくる 食べる楽しみ はつらつ生活

生涯食事をおいしく食べ、はつらつとした生活が送れるように、みんなで歯と口の健康づくりに取り組んでいきます。

□重点的取り組み□

歯科口腔保健推進計画は3つの重点的な取り組みを行います

重点的取り組み 1		生涯を通じた歯科疾患重症化予防に対する取り組みの強化				
歯科疾患重症化予防のため、歯周疾患検診の受診率向上を図ります。						
事業計画：歯周疾患検診受診率						
現状値（平成31年度）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
3.0%	4%以上	4%以上	6%以上	6%以上	6%以上	

重点的取り組み 2		生涯を通じてよく噛んで食べることや、口腔機能の向上に向けた歯の喪失防止の取り組みの充実				
生涯を通じた口腔機能の維持改善のため、新たに通いの場における支援などを実施します。						
事業計画：半年前よりも硬いものが食べにくいと感じている76歳の割合						
現状値（平成31年度）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
29.3%	28%以下	28%以下	28%以下	25%以下	25%以下	

重点的取り組み3		定期歯科健診受診率向上に向けた取り組みの充実			
歯科疾患の早期発見・治療のため、家族一人ひとりがかかりつけ歯科医を持ち、定期的に歯科健診を受けることを勧奨します。					
事業計画：3歳児でかかりつけ歯科医がある幼児の割合					
現状値（平成31年度）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
38.8%	45%以上	45%以上	50%以上	50%以上	50%以上

1. 歯科口腔保健の意識と生活習慣の改善

(1) 歯科口腔保健の正しい知識の普及

【健康課題からみえた市の取り組み】

8020運動の認知度は高まっていますが、男性や20歳から40歳代の女性の認知度が低いことから、6024運動^①や、千葉県歯科医師会が推奨する8029運動^②の普及を含めて、今後も幼児期から歯科口腔保健の正しい知識の普及啓発に積極的に取り組む必要があります。

【現状値及びめざそう値】

目標項目	現状値			めざそう値	
	数値	測定年度	現状値の出所	数値	測定年度の目安
8020運動の言葉と意味がわかる人の割合の増加（20歳以上）	43.8%	31年度	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	50%以上	7年度
1歳6か月児で間食として甘味食品・飲料を1日3回以上飲食する習慣を持つ人の割合の減少	9.9%	31年度	白井市1歳6か月児健康診査結果	5%以下	7年度

【主な取り組み事業】

事業名	事業の概要	担当課	関係機関
歯科健診事業	子どもから大人までを対象とした歯科健診の場において、歯科疾患を予防するため歯口清掃の方法、甘味飲料の摂取、フッ化物利用によるむし歯予防の効果についての知識や情報を提供します。	○健康課	○印旛郡市歯科医師会
歯科健康教育事業	児童館、保育園、学校、市主催の歯科健康教室の場やホームページ・SNSの発信などにおいて、歯科疾患を予防するため歯口清掃の習慣づけや、歯と口の健康に関する知識や情報を提供します。	○健康課 ○子育て支援課 ○保育課 ○教育支援課	○印旛郡市歯科医師会
歯科健康相談事業	子育て支援センター及び児童館の歯科健康相談、電話・来所相談の場において、歯科疾患などの相談に対し支援を行います。	○健康課 ○保育課	

① 6024運動（ろくまるにいようんどう）

生涯自分の歯でおいしく食事をし、心身の健康を保てるように60歳で自分の歯を24本残す運動です。

② 8029運動（はちまるにくうんどう）

平成30年より千葉県歯科医師会が「8029（ハチマル肉）・健康寿命延伸事業」を立ち上げました。80歳になっても蛋白質（肉）を摂取して元気な高齢者を増やしていこうという運動です。

【市民の皆様への提案～こんなことからやってみよう！】

乳幼児期 青年期	●むし歯予防を意識した歯みがきの方法を知ろう。 ●大人による毎日の仕上げみがきの大切さを知ろう。 ●間食としての甘味飲料・食品を1日に2回以下にしよう。 ●フッ化物利用によるむし歯予防について理解しよう。
成人期 高齢期	●8020（ハチマルニイマル）、8029（ハチマル・ニク）をめざして取り組もう。 ●むし歯や歯周病予防の大切さについて理解しよう。 ●生涯おいしく食べるために歯と口腔の健康が大切であることを理解しよう。

コラム 千葉県発 8029（ハチマル肉）の提唱

平成28年度の歯科疾患実態調査では80歳以上の人の約半数が20本以上の歯を持つことができるようになりました。

千葉県歯科医師会では、これからの課題として、歯を残すことは勿論、残っている歯を有効に使い、体の健康の維持に必要な食支援を行い、健康寿命を延伸していくことを「8029（ハチマル肉）」という形で提唱し、推進することとしました。

つまり、「8029（ハチマル肉）」とは「80歳になっても肉を始めとした良質なタンパク質を食べることで介護いらずの元気な高齢の人を増やしていこう」という取り組みです。



(2) 自ら進んで歯科口腔保健に関心を持ち、むし歯や歯周病予防に取り組む意識の向上

【健康課題からみえた市の取り組み】

デンタルフロスや歯間ブラシの使用、むし歯予防に効果のある歯みがき剤の使用など、20歳以上の日常の歯みがきなどの実施状況は、平成26年度調査よりも増加しました。一方で、高校生のデンタルフロスや歯間ブラシの使用は17.4%、昼食後の歯みがきの実施が10.6%と低い状況にあります。

軽度の歯肉炎は歯みがきで改善が期待できることから、幼児期及び学齢期から予防への関心を高め、生活習慣の改善やセルフケアの実践などの取り組みや環境整備を積極的に行う必要があります。

【現状値及びめざそう値】

目標項目	現状値			めざそう値	
	数値	測定年度	現状値の出所	数値	測定年度の目安
高校1年生の昼食後の歯みがき実施生徒の割合の増加	10.6%	31年度	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	20%以上	7年度
デンタルフロスや歯間ブラシを使用する人の割合の増加（20歳以上）	67.3%	31年度	白井市歯周疾患検診結果	70%以上	7年度
1歳6か月児で毎日保護者が仕上げみがきをする習慣のある人の割合の増加	90.3%	31年度	白井市1歳6か月児健康診査結果	93%以上	7年度

【主な取り組み事業】

事業名	事業の概要	担当課	関係機関
歯科健診事業	子どもから高齢者までを対象とした歯科健診の場などにおいて、正しい歯のみがき方についての指導を行います。	○健康課	○印旛郡市歯科医師会
歯科健康教育事業	児童館、保育園、学校、市主催の歯科健康教室の場やホームページ・SNSの発信などにおいて、自らが進んで毎日の歯みがきに取り組む意識の向上のため、歯みがき指導を行います。	○健康課 ○高齢者福祉課 ○子育て支援課 ○保育課 ○教育支援課	○印旛郡市歯科医師会
歯科健康相談事業	子育て支援センター及び児童館の歯科健康相談、電話・来所相談において、歯と口の健康に関する相談に対し支援を行います。	○健康課 ○保育課	
歯科口腔保健普及啓発事業	「よい歯のコンクール」、「歯と口の健康週間 [㊦] 」普及標語、「むし歯予防作品展」などの参加者を募集し、歯と口の健康に関する意識の向上を図ります。	○健康課 ○教育支援課	○印旛郡市歯科医師会

[㊦] 歯と口の健康週間（はとくちのけんこうしゅうかん）

6月4日から10日を「歯と口の健康週間」としています。歯と口の健康に関する正しい知識を国民に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せてその早期発見及び早期治療を徹底することにより歯の寿命を延ばし、国民の健康の保持増進に寄与することを目的としています。

【市民の皆様への提案～こんなことからやってみよう！】

乳幼児期 青年期	● 歯や歯肉など、口の中をよく観察しよう。 ● 毎食後の歯みがきを実行しよう。 ● おやつは時間と量を決めて食べるようにしよう。 ● デンタルフロスや歯間ブラシを使用しよう。 ● 「歯・口の健康啓発標語コンクール」、「むし歯予防作品展」に応募しよう。
成人期 高齢期	● 歯と口の健康に関心を持ち、意識的に口の中をみるようにしよう。 ● デンタルフロスや歯間ブラシを使用しよう。 ● 間食をとり過ぎないようにしよう。 ● 「歯・口の健康啓発標語コンクール」に応募しよう。

2. 歯科疾患の予防

(1) 生涯を通じた歯科疾患重症化予防に対する取り組みの強化

【健康課題からみえた市の取り組み】

幼児健診及び後期高齢者歯科口腔健診の受診率は県と比較すると高い状況にありますが、妊婦歯科健診の受診率は16.3%、歯周疾患検診の受診率は3.0%と低く、成人期の歯肉炎・歯周炎を有する人の割合についても近年変化が見られない状況です。

歯科健診に関心のない人へのアプローチのほか、医療機関などと連携した周知啓発の実施など、歯科健診受診率向上への取り組みの充実を図る必要があります。

【現状値及びめざそう値】

目標項目	現状値			めざそう値	
	数値	測定年度	現状値の出所	数値	測定年度の目安
3歳児でむし歯のない人の割合の増加	84.2%	31年度	白井市3歳児健康診査結果	90%以上	7年度
12歳児のむし歯の本数の減少	0.8本	31年度	白井市児童生徒健康診断結果	0.7本以下	7年度
60歳で未処置歯を有する人の割合の減少	29.4%	31年度	白井市歯周疾患検診結果	25%以下	7年度

【主な取り組み事業】

事業名	事業の概要	担当課	関係機関
歯科健診事業	子どもから高齢者までを対象とした歯科健診の場において、要治療者に対する早期受診の勧奨を行います。	○健康課	○印旛郡市歯科医師会
歯科健康教育事業	生活習慣病予防事業やなるほど行政講座において、かかりつけ歯科医の大切さ、喫煙と歯周病の関係について周知します。	○健康課 ○企画政策課 ○高齢者福祉課	
歯科健康相談事業	電話・来所相談において、歯科疾患に関する相談に対し早期受診勧奨などの支援を行います。	○健康課	
歯科口腔保健普及啓発事業	「歯と口の健康週間」、「いい歯の日」 [※] を周知し、かかりつけ歯科医の大切さ及び歯科疾患の早期発見と重症化予防につなげます。	○健康課	○印旛郡市歯科医師会

※ いい歯の日（いいはのひ）

11月8日を「いい歯の日」とし、「いつまでもおいしく、そして、楽しく食事をとるために、口の中の健康を保っていただきたい」という願いを込めて、厚生労働省とともに1989年（平成元年）より「80歳になっても自分の歯を20本以上保とう」という「8020運動」を積極的に推進しています。「いい歯の日」は、その「8020運動」推進の一環であり、国民への歯科保健啓発の強化を目的としています。

事業名	事業の概要	担当課	関係機関
歯科医療体制整備事業（白井市年末年始歯科診療）	年末年始の市内歯科医院休診時における歯痛などの応急処置を行うため、年末年始の2日間歯科診療を実施します。	○健康課	○印旛郡市歯科医師会

【市民の皆様への提案～こんなことからやってみよう！】

乳幼児期 青年期	●定期的なフッ化物歯面塗布や、フッ化物配合歯みがき剤を使用しよう。 ●歯科健康診査で要受診となった場合には早期に歯科医院を受診しよう。 ●小学校低学年までは保護者が仕上げみがきをしよう。
成人期 高齢期	●日常の歯みがきの積極的な取り組みや、かかりつけ歯科医を持とう。 ●妊娠期に歯科健康診査を受診しよう。 ●歯周疾患検診を受診しよう。 ●歯周病と喫煙の関係を理解し、禁煙と生活習慣の改善に取り組もう。

（２）歯科疾患と全身の健康のかかわりについての普及啓発

【健康課題からみえた市の取り組み】

誤嚥性肺炎の言葉と意味がわかる人の割合は70.9%と、平成26年度調査よりも増加しました。

近年、全身の健康にもつながる歯周病などの歯科疾患対策の強化が図られる中で、保険者における歯科健診や保健指導の取り組みが進んでいることから、今後関係団体などとともに歯科疾患対策の取り組みの推進を図る必要があります。

また、児童虐待を受けている子どもの早期発見については、迅速かつ組織的な対応が求められることから、引き続き関係団体などとの速やかな連携を図る必要があります。

【現状値及びめざそう値】

目標項目	現状値			めざそう値	
	数値	測定年度	現状値の出所	数値	測定年度の目安
中学1年生で歯肉に炎症所見を有する人の割合の減少	19.7%	31年度	白井市児童生徒健康診断結果	19%以下	7年度
40歳で進行した歯周炎を有する人の割合の減少	7.7%	31年度	白井市歯周疾患検診結果	7%以下	7年度

【主な取り組み事業】

事業名	事業の概要	担当課	関係機関
歯科健診事業	子どもの歯科健診や市内歯科医院の場において、多数のむし歯があり児童虐待の疑いがある場合について、関係機関と連携を図ります。 妊婦歯科健診や歯周疾患検診の場において、歯周病と全身の健康のかかわりについて周知します。	○健康課	○印旛郡市歯科医師会
歯科健康教育事業	児童館、保育園、学校、市主催の歯科健康教室の場やホームページ・SNSの発信などにおいて、むし歯・歯周病と全身の健康のかかわりについて周知します。	○健康課 ○子育て支援課 ○保育課 ○教育支援課	
歯科口腔保健普及啓発事業	「歯と口の健康週間」、「いい歯の日」において、多数歯むし歯・歯周病と全身の健康のかかわりについて周知します。	○健康課	○印旛郡市歯科医師会

【市民の皆様への提案～こんなことからやってみよう！】

乳幼児期 青年期	●多数歯むし歯・歯周病と全身の健康のかかわりについて理解しよう。
成人期 高齢期	●歯周病と全身の健康（誤嚥性肺炎・糖尿病・早産など）のかかわりについて理解しよう。

3. 生活の質の向上に向けた口腔機能の維持獲得

(1) 生涯を通じてよく噛んで食べることや、口腔機能の向上に向けた歯の喪失防止の取り組みの充実

【健康課題からみえた市の取り組み】

3歳児でよく噛んで食べていると思う保護者の割合は、平成30年度の実績で89.8%と平成26年度調査よりも低下しました。また、80歳以上で食べ物を噛む状態に支障をきたしている人は8.3%で、平成26年度調査よりも低下しています。

生涯を通じて口腔機能が維持できるよう、幼児期からよく噛んで食べることの大切さの普及や、成人・高齢期の集団での口腔機能向上に関するアプローチなど、歯の喪失防止に向けた支援に引き続き取り組む必要があります。

【現状値及びめざそう値】

目標項目	現状値			めざそう値	
	数値	測定年度	現状値の出所	数値	測定年度の目安
3歳児でよく噛んで食べていると思う保護者の割合の増加	87.9%	31年度	白井市3歳児健康診査結果	93%以上	7年度
中学1年生、高校1年生でよく噛んで食べていると思う生徒の割合の増加	中学1年生 53.9%	31年度	白井市食育評価アンケート	60%以上	7年度
	高校1年生 48.6%		白井市民の「健康」に関するアンケート調査		
硬い食べ物でも普通に噛んで食べることができる人の割合の増加（20歳以上）	62.4%	31年度	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	65%以上	7年度

【主な取り組み事業】

事業名	事業の概要	担当課	関係機関
歯科健診事業	協力歯科医院において、後期高齢者医療被保険者の歯科健診を実施します。 子どもから高齢者までを対象とした歯科健診の場において、かみ合わせが良好でない人に対し、指導を行います。	○健康課	○千葉県歯科医師会 ○印旛郡市歯科医師会
歯科健康教育事業	市内施設や歯科医療機関と連携し、市全体で、よく噛んで食べることの大切さ、口の体操について周知します。 新たに通いの場における口腔ケア教室を実施します。	○健康課 ○高齢者福祉課 ○子育て支援課 ○保育課 ○教育支援課	○印旛郡市歯科医師会 ○地区社協（通いの場）
歯科健康相談事業	電話・来所相談において、かみ合わせについての相談に対し支援を行います。	○健康課	
食育推進事業	小学生の食育指導において、よく噛んで食べることを指導します。	○教育支援課	

【市民の皆様への提案～こんなことからやってみよう！】

乳幼児期 青年期	●よく噛んで食べることの大切さを学び、意識して実践しよう。 ●口の体操など、口腔機能の維持向上のためのセルフケアを実践しよう。
成人期 高齢期	●よく噛んで食べることを意識して実践しよう。 ●口の体操など、口腔機能の維持向上のためのセルフケアを実践しよう。 ●歯の喪失を予防し、噛んで食べられる口腔機能を維持しよう。 ●いきいき夢教室（通いの場における口腔ケア教室）に参加しよう。

4. 定期的に歯科健診または歯科医療を受けることが 困難な人に対する歯科口腔保健

(1) 障がいのある人、介護を必要とする人などへの適切な歯科口腔保健の提供

【健康課題からみえた市の取り組み】

平成30年度に介護施設などにおける施設入所者の定期的な歯科健診受診機会の提供に関する調査を実施したところ、施設入所者への歯科健診受診体制はおおむね整っていることがわかりました。しかしながら、施設では口腔ケアを実施できる職員の不足が課題となっていることから、施設職員に対する口腔ケアの実践研修など、歯科技術的な支援の提供について検討する必要があります。

【主な取り組み事業】

事業名	事業の概要	担当課	関係機関
歯科健診事業	障がいのある人、介護を必要とする人などが定期的な歯科健診が受けられるように支援します。	○健康課 ○社会福祉課 ○高齢者福祉課 ○障害福祉課 ○子育て支援課	○障害者（児）通所施設 ○介護老人施設など
歯科健康教育事業	施設職員に対する口腔ケアなどの技術支援を実施します。	○健康課	○障害者（児）通所施設 ○介護老人施設など

【障害者（児）通所施設、介護老人施設への提案】

施設・施設担当者

- 定期的に歯科健診が受けられる体制を整備します。
- 口腔ケアの技術を習得します。

(2) 障がいのある人、介護を必要とする人などに対する歯科医療情報の提供の充実

【健康課題からみえた市の取り組み】

近年、市内歯科医院における歯科訪問診療（在宅医療）の実施機関が増えており、歯科医院に通院困難な人に対する歯科医療サービスの体制は整いつつあります。

障がいのある人への歯科治療に関する情報発信や、介護を必要とする人などが必要時に歯科医療サービスが受けられるように、関係機関と協力しながら引き続き取り組むことが必要です。

【現状値及びめざそう値】

目標項目	現状値			めざそう値	
	数値	測定年度	現状値の出所	数値	測定年度の目安
市内で在宅歯科サービスを提供する施設数の増加	14施設	31年度	千葉県	16施設以上	7年度

【主な取り組み事業】

事業名	事業の概要	担当課	関係機関
歯科医療体制整備事業	障がいのある人への歯科治療に関する情報を発信します。 歯科訪問診療（在宅医療）などが必要な人に対して、市、施設などが歯科医療の情報を提供できるような体制を整備します。	○健康課 ○高齢者福祉課 ○障害福祉課 ○子育て支援課	○千葉県歯科医師会 ○障害者（児）通所施設 ○介護老人施設など
介護施設などとの連携事業	市内介護施設などに従事する職員に対して、歯科口腔保健や、歯科医療についての情報を提供します。	○高齢者福祉課（地域包括支援センター） ○健康課 ○障害福祉課	○白井市介護支援専門員協議会

【障害者（児）通所施設、介護老人施設への提案】

施設・施設担当者

- 歯科医院に通院困難な人に対し、歯科訪問診療（在宅医療）などの歯科医療情報を把握します。

【市民の皆様への提案～こんなことからやってみよう！】

障がいのある人
介護を必要とする人

- 歯科医療情報を得てかかりつけ歯科医を見つけよう。
- 疾病の早期発見のために定期歯科健診が必要であることを理解し実践しよう。
- 毎日の歯みがきを継続しよう（家族支援含む）。

5. 歯科口腔保健を推進するために必要な社会環境の整備

(1) 定期歯科健診受診率向上に向けた取り組みの充実

【健康課題からみえた市の取り組み】

過去1年間で歯科健診を受診した人は57.7%、かかりつけ歯科医がある人は68.5%で、いずれも平成26年度調査から増加しました。

しかしながら、平成30年度にかかりつけ歯科医がある3歳児の割合は39.3%で、国の平均48.8%と比較すると低くなっています。また、歯の定期健診を受けている高校生の割合は25.2%と低い状況にあることを踏まえ、幼児期、学齢期から定期歯科健診の必要性の理解と、かかりつけ歯科医定着に向けた支援を行う必要があります。

また、自分の健康に関する悩みや不安で「歯の健康」と回答した人が20歳以上で31.3%となっており、平成26年度調査の26.5%から増加しました。近年注目されている口腔がんなどの早期発見にもつながることから、成人期以降のかかりつけ歯科医の定着及び定期歯科健診受診率向上に向けて引き続き取り組む必要があります。

【現状値及びめざそう値】

目標項目	現状値			めざそう値	
	数値	測定年度	現状値の出所	数値	測定年度の目安
過去1年間に歯科健診を受診した人の割合の増加（20歳以上）※	57.7%	31年度	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	60%以上	7年度
かかりつけ歯科医がある人の割合の増加（20歳以上）	68.5%	31年度	白井市民の「健康」に関するアンケート調査	70%以上	7年度

※このめざそう値は、健康増進計画のめざそう値としての位置づけもあります。

【主な取り組み事業】

事業名	事業の概要	担当課	関係機関
歯科健診事業	歯周疾患検診対象者に対し、積極的な受診勧奨を行います。 子どもから高齢者までを対象とした歯科健診の場において、家族でかかりつけ歯科医を持ち、定期的に歯科健診を受診するように周知します。	○健康課	○印旛都市歯科医師会
歯科健康教育事業	児童館、保育園、学校、市主催の歯科健康教室の場やホームページ・SNSの発信などにおいて、家族でかかりつけ歯科医を持ち、定期的に歯科健診を受診するように周知します。	○健康課 ○子育て支援課 ○保育課 ○教育支援課	○印旛都市歯科医師会

事業名	事業の概要	担当課	関係機関
歯科健康相談事業	電話・来所相談において、市内歯科医院の情報についての相談に対し支援を行います。	○健康課	
歯科医療体制整備事業	歯科医療機関と連携し、かかりつけ歯科医の普及促進や定期歯科健診の受診勧奨に取り組みます。	○健康課	○印旛郡市歯科医師会

【市民の皆様への提案～こんなことからやってみよう！】

乳幼児期 青年期 成人期 高齢期	●家族一人ひとりがかかりつけ歯科医を持ち、定期的に歯科健診を受診しよう。
---------------------------	--------------------------------------

（２）歯科口腔保健の推進に関する連携体制の構築

【健康課題からみえた市の取り組み】

平成28年度新たに組織した歯科口腔保健推進ボランティア（しろい歯みがき隊）は、幼児健診、保育園、小中学校への歯みがき指導の場で活躍しており、歯みがきの大切さの理解や、積極的に歯みがきに取り組む児童生徒の増加につながることから、今後も歯科口腔保健の普及啓発のため、育成していくことが必要です。

また、近年県内でも自然災害などに見舞われていることを踏まえ、災害時における迅速な歯科口腔保健サービスを提供するための連携強化及び体制確保についての検討が必要となっています。

【主な取り組み事業】

事業名	事業の概要	担当課	関係機関
歯科口腔保健普及啓発事業	「むし歯予防作品展」、「歯と口の健康週間」、「いい歯の日」についての普及啓発を積極的に行います。	○健康課 ○教育支援課	○印旛郡市歯科医師会
推進活動整備事業	歯科口腔保健推進ボランティアを育成し、市民と協働で計画の取り組みを普及推進します。	○健康課	○母子保健推進員 ○食生活改善推進員
歯科口腔保健推進事業	保健衛生事業計画歯科医師会議など、市の歯科口腔保健を円滑に推進するため、関係機関との連携を図ります。	○健康課	○印旛郡市歯科医師会

【市民の皆様への提案～こんなことからやってみよう！】

乳幼児期
青年期
成人期
高齢期

- 歯科口腔保健推進ボランティアに参画しよう。
- 「歯と口の健康週間」や「いい歯の日」を理解し、歯みがきなどに意識的に取り組もう。
- 「歯と口の健康週間普及標語」に応募しよう。
- 大規模災害用に口腔ケアグッズを備えておこう。

◎歯科口腔保健推進計画事業一覧◎

※「○」は具体的取り組みに該当する事業で、そのうち「●」については重点的に取り組む事業です。

No	【主な取り組み事業】 事業名	該当する事業	具体的取り組み								
			1-(1)	1-(2)	2-(1)	2-(2)	3-(1)	4-(1)	4-(2)	5-(1)	5-(2)
			歯科口腔保健の正しい知識の普及	自ら進んで歯科口腔保健に関心をもち、むし歯や歯周病予防に取り組む意識の向上	生涯を通じた歯科疾患重症化予防に対する取り組みの強化	歯科疾患と全身の健康のかかわりに関する普及啓発	生涯を通じてよく噛んで食べることや、口腔機能の向上に向けた歯の喪失防止の取り組みの充実	提供人などの適切な歯科口腔保健の提供	障がいのある人、介護を必要とする人などに対する歯科医療情報の提供の充実	障がいのある人、介護を必要とする人などに対する歯科医療情報の提供の充実	定期歯科健診受診率向上に向けた取り組みの充実
1	歯科健診事業	妊婦歯科健康診査			○	○	○			○	
2		1歳6か月児健康診査	○		○	○	○			○	
3		2歳児歯科健康診査	○		○	○	○			○	
4		3歳児健康診査	○	○	○	○	○			○	
5		保育園歯科健康診査			○	○	○			○	
6		児童生徒健康診断			○	○	○			○	
7		こども発達センター歯科健康診査			○		○	○	○	○	
8		歯周疾患検診 重点的取り組み1			●	○	○			○	
9		後期高齢者歯科口腔健康診査重点的取り組み2			○		●		○		
10	歯科健康教育事業	プレ☆ババママスクール	○	○						○	
11		かみかみ教室	○	○			○				
12		保育園歯科保健指導	○	○		○	○				
13		児童生徒の歯科保健指導	○	○		○	○			○	
14		生活習慣病予防教室「歯周病予防」	○	○	○	○				○	
15		ホームページやSNSを活用した歯科保健指導	○	○						○	
16		いきいき夢情報教室 (通いの場における口腔ケア教室【新規】)	○	○	○		○			○	
17		イベントにおける歯科健康教育	○	○			○				
18		なるほど行政講座「歯っぴいスマイル講座」	○	○	○			○		○	
19	歯科健康相談事業	子育て支援センターすこやか相談	○	○						○	
20		電話・来所相談	○	○	○		○		○	○	
21	歯科口腔保健普及啓発事業	よい歯のコンクール		○							
22		歯・口の健康啓発標語コンクール		○							
23		むし歯予防作品展		○							○
24		「歯と口の健康週間」「いい歯の日」普及啓発			○	○					○
25	食育推進事業	児童の食に関する指導					○				
26	推進活動整備事業	歯科口腔保健推進ボランティア育成									○
27	歯科口腔保健推進事業	庁内健康づくり推進会議									○
28		保健衛生事業計画歯科医師会議									○
29		健康づくり推進協議会									○
30	介護施設などとの連携事業	介護施設などとの連携事業							○		
31	歯科医療体制整備	在宅歯科サービス提供施設の情報提供							○		
32		かかりつけ歯科医の普及推進重点的取り組み3								●	
33		年末年始歯科診療			○						